

プラチナ・キャリアセンター

Platinum Career Center

副業・兼業

好事例集

人材SIDE



はじめに

プラチナ・キャリアセンターとは

プラチナ・キャリアセンターは、経験豊富なキャリアを持つ50歳以上の人材が、副業・兼業（業務委託）により、さらに活躍する機会を確保するための支援拠点として創設されました。

50歳以上の人材の皆様には、セミナーへの参加、相談員への相談、センターの情報コーナーでの情報収集等を通じて、副業・兼業等の新たな働き方やこれまでのキャリアを活かしたキャリアシフトの方法について学んでいただけます。さらに交流イベントおよびマッチング会等の参加を通じて、業務委託の活用を検討する企業の担当者と直接コミュニケーションを図っていただくことも出来ます。

あわせて当センターでは副業・兼業をするためのワーキングスペースをご用意しておりますので、実際に副業・兼業をされる際にはぜひご利用ください。副業・兼業をする仲間との情報交換等にもお役立ていただけます。

利用対象者



- 50歳以上の方（年度末に満50歳になる方も対象）
- 東京都内での副業・兼業に興味があるもしくは検討している方
※企業等に所属していない方、独立してお仕事をしているフリーランスの方はご利用いただけません。

主なサポートプログラム

個別相談

業務委託での副業・兼業をするための様々な質問や悩みを相談員に相談できます。専門的な内容にも、社労士・税理士が相談対応いたします。

各種セミナー

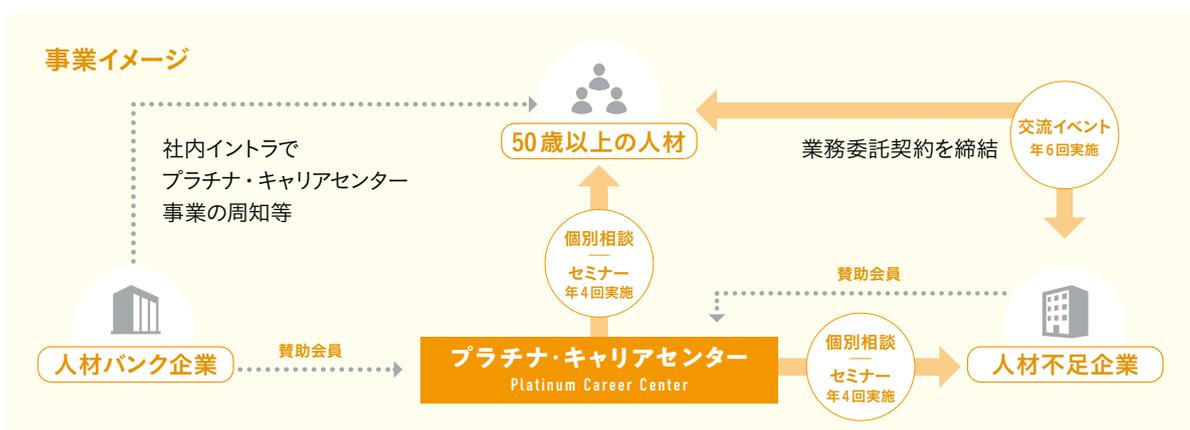
副業・兼業をするためのマインドセットやノウハウ等に関するセミナーを開催いたします。

交流イベント

人材不足に悩む企業とのビジネスマッチングの場として交流イベントを開催いたします。

プラチナ・キャリアセンター内の情報コーナーおよびサイトに、業務委託案件の募集情報を掲載いたします。※詳細は施設利用者のみ閲覧可能

ぜひご利用ください
<https://pcc-tokyo.org/>



case
02

株式会社 コミュニティセンター

定年も年齢制限もなし。
マンション管理代行企業として、
シニアと共に歩みたい

我が社は、創業から32年になるマンション管理代行業のバイオニアといえる企業です。管理業務を行う管理人や、高級マンションのコンシェルジュの業務を請けています。社員は現在100名ほど。管理人やコンシェルジュとして登録いただいているスタッフは約2000名で、そのほとんどが副業・兼業人材です。業務委託契約の形でお仕事をしていただいています。2000名のうちコンシェルジュは約1割。平均年齢は50代半ばです。約9割となる管理業務に携わる方たちの平均年齢は69から70歳です。当社には、社員の定年がありません。登録スタッフにも年齢制限はありません。シニアの方々と共に、新しい働き方を創っていきたく考えています。

シニアのコミュニケーション能力は、
マンション管理業務の大きな強みとなる

マンション管理には受付、ゴミ出し、点検、連絡、

清掃、巡回、立ち会い、報告、事務手続きといった業務があります。また、発注元は管理会社になるのですが週に1回、週に3回で午前中だけなど、業務時間はさまざまです。業務を滞りなく行っていただきたいのはもちろんですが、同時に大切なのは、人と人とのコミュニケーションです。おはようございます、今日は暑いですね、といった会話を住民の方と自然にかわすことができるのは、長きに渡り仕事を続けていらっしゃる副業・兼業人材の強みだと感じています。また研修を受けていただくのですが、修得も早いです。業務時間は柔軟性が高いので、希望に沿った働き方が見つけやすいなど、副業・兼業人材向けの仕事だと考えています。

非常にレベルの高い方が多く訪れる、
それがプラチナ・キャリアセンターの
魅力のひとつ

プラチナ・キャリアセンターの交流イベントには、初回から4回ほど出席させていただきました。すでに登録に至った方はまだ1名ですが、数名の方と登録に向けた話を進めているところです。私どものブースに

会社概要

東京都練馬区栄町 2-10
セレス 21 B1

TEL 03-5946-9592
URL <https://community-center.co.jp/>
設立日 1993年10月
資本金 1,000万円
代表取締役 中川 弘規
従業員数 96名
登録スタッフ2,053名
(2025年1月現在)

株式会社
コミュニティセンター
代表取締役

中川 弘規さん



は、マンション管理に関心がある方が立ち寄ることが多いわけですが、とても立派なキャリアをお持ちの方も多いので少し驚いています。登録に至った方は50代前半の男性で、IT業界でデスクワークをしておられます。普段机に座って仕事をしているので、体を動かせる副業を探していると。月曜から金曜までフルタイムの本業があるこの方には、土曜日の管理業務は最適です。プラチナ・キャリアセンターは東京都の事業であることから、信頼性が高い方が相談にいらっしやいます。求人する側として、それは大きな魅力のひとつですね。

**副業・兼業も関係なく
プロフェッショナルを育成。
専業の方と同じ研修を受けて現場へ**

先ほどの話と重複しますが、登録スタッフにはマンションの管理業務を行う管理人や、高級マンションの

コンシェルジュとしてご活躍いただいています。管理業務のなかでも非常に重要なのは清掃作業になります。未経験の方の研修は2日間、朝から夕方までみっちり、管理の知識から清掃の実習までをひと通り行います。先輩に同行して行うOJT研修を経た後は、管理業務の一切を、ひとりで行っていただくこととなります。

**曜日も時間帯も場所も選べる。
マンション管理業務は隙間時間を使う、
副業・兼業人材向けの仕事**

マンションの管理業務は、当社が受託したマンションを訪れて業務していただきます。受託内容により曜日や回数は異なり、また場所も、東京都であればほぼ全域に業務先があります。当社では、登録スタッフが自分で働き方を決めることができます。自分のライフスタイルに合わせて、時間を上手に使って働いていただけるようになっています。

**プラチナ・キャリアセンターを
上手に利用して、企業と50歳以上の人材が
共に輝ける未来に！**

東京都の事業であることは、プラチナ・キャリアセンターの最大の魅力です。東京都のイベントに参加する企業なのだから信頼性が高い、という前提で話が進んでいきます。また人材側にとっては、一般のエージェントに相談するよりはハードルが低いということ、こういった場合は初めてという方も多くいらっしやいます。

す。我々は、50歳以上の副業・兼業人材の方に、マンション管理の仕事はこんなに柔軟な働き方が可能なんだということを、もっと広く知っていただきたいと考えており、そのためにも交流イベントは有効な機会となっております。

プラチナ・キャリアセンターでは、業務委託案件の内容や我々のブースに副業・兼業人材が相談にいらした時の進め方、用意しておきたい資料のアドバイスなど、さまざまな疑問や質問に答えてくれます。こういった場に臨むのは初めてという企業も安心できるであろうサポート体制が用意されていると感じています。参加する企業も、交流イベントに訪れる副業・兼業人材も増えて、50歳以上の人材がいきいきと働ける未来につながることを願っています。



case 02

株式会社コミュニティセンター 業務委託受託者

M.Y. さん

(50歳男性)

現在の業種

▶ 製造業

副業の業種

▶ マンション管理代行業

現在の職種

▶ システムエンジニア

副業の職種

▶ マンション管理業務

会社概要

株式会社コミュニティセンター

東京都練馬区栄町 2-10 セレス 21 B1

TEL 03-5946-9592

URL <https://community-center.co.jp/>

設立日 1993年10月

資本金 1,000万円

代表取締役 中川 弘規

従業員数 96名
登録スタッフ2,053名 (2025年1月現在)

本業の会社で副業がいよいよ可能に。
それが副業を探しだしたきっかけ

現在は製造業に属する上場企業の正社員として、新規事業開発に携わるシステムエンジニアをしています。前職でシステムエンジニアとしてのスキルを培い、プロジェクトマネージャーとしての実績も積んできました。現職はその延長線上にある職種で、IT領域の社内案件の開発に携わっています。

元々は65歳を過ぎてから、いろいろな仕事にチャレンジできたらと考えていました。ところが、1年ほど前に病気を患ってしまって。明日のこと、1年先、10年先の自分の将来について、改めて真剣に考える機会と時間ができたんです。体が動くうちに、やりたいことは全部やっておこうという気持ちになりました。そのひとつが副業です。これまでのスキルを活かすものでもいいし、まったく経験のない内容でもいい。なんでも挑戦したい。そんなときに、本業の会社で副業が可能になったんです。これが副業を真剣に探すようになったきっかけです。

誠実に的確に業務を遂行する。
社会人としてあたりまえの行動が、
委託企業の利益につながる

副業で実現したい価値は、そんなに大それたものではなくて、個人的な好奇心を満たすことなのかもしれません。委託企業への貢献という意味では、システムエンジニアとしてのスキル、部下を管理・指導してきたマネージャーとしての経験、そして社会人としてあたりまえの常識が、自分には備わっているであろうと自負しています。お役に立てることがあるなら、なんなりと貢献させていただきたい、そんな気持ちでいます。

座ったままの本業と正反対の副業は、
体にも脳にも、とても良い刺激になると期待

プラチナ・キャリアセンターの交流イベントに参加したのは1度だけ。その1回で株式会社コミュニティセンターとご縁があって業務委託契約でお仕事をさせていただくことになりました。副業を意識してから「副業 シニア 50代」といったワードでネット検索をしたおりに、プラチナ・キャリアセンターがヒットしました。SNSの広告でしたが、50代以上のミドル世代の新しい働き方を推進するとあり、しかも東京都の事業だという。交流イベントに訪れ、たまたま株式会社コ



コミュニティセンターの方と話すする機会に恵まれたわけです。正直に言えば、マンションの管理業務に関心があったわけではありませんでした。でも話を聞くうちに働き方として可能だし、体を動かしつつ人と触れ合える仕事は、本業と正反対。ぜひともやってみたいという気持ちになりました。

週に1回、エンドユーザーと直接触れ合い、 笑顔を見ることができるのは、 この副業ならではの喜び

マンションの管理業務は受付、ゴミ出し、点検、連絡、清掃、巡回、立ち会い、報告、植栽管理、事務手続きなど。なかでも主な仕事は清掃です。これまでの職歴とはほとんど関連がありません。社会人としての常識、人としての良識が強く問われる仕事と感じています。製造業もIT業界も、製品を利用いただくエンドユーザーの顔はなかなか見ることができませんが、マンションの管理業務ではお住いの方の笑顔を直接拝見できます。これは幸せなことだなと感じています。

仕事をするうえで大切にしているのは、信頼です。この人に任せれば、滞りなく業務が遂行できる、期待した成果が上がるという信頼。まずは住民の方々と株式会社コミュニティセンターの信頼を得るべく、ひとつひとつ着実にやり遂げていこうと考えています。

今は研修が終わり、仕事をスタートしようとしている段階です。週に1度、土曜日の勤務が希望です。マンションの管理業務ですので、リモートやオンラインはありません。現地を訪れて就業することになります。

この先のキャリアもステップも関係ない。 副業だからひたすら自由に、 従事する時間を楽しみたい

悔いのない人生を送るために、やりたい仕事は機会があれば、すべてやってみたい。隙間時間を自分自身が楽しんで、誰かのためになり、報酬もいただけるのですから、こんなにありがたいことはないです。本業と副業に関連性なんてなくてもいい。今後のキャリアにつなげる必要もない。副業だからこそ自由でいい。私はそう考えています。

副業はいくつあってもいい。 プラチナ・キャリアセンターで さらなる仕事を見つけたい

私は他の機関からIT関連の副業の紹介を受けることがあります。その際に知らない会社だと経営状態などの調査が大変で。その点、プラチナ・キャリアセンターは東京しごと財団と東京都が主催しています。参加企業はそのフィルターを通ったということなので、安心感は抜群です。交流イベントでは、最初は関心をもてる企業はなさそうという印象だったのですが、話を聞くだけでもどうですか？とサポートの方が声をかけてくださり、ご縁につながったという経緯があります。プラチナ・キャリアセンターの交流イベントは、回を重ねるごとに参加企業が増えていると聞きます。ぜひまた新たなご縁をいただけたらと思っています。

労働力市場の現況 副業・兼業人材が増加

総務省統計局の「労働力調査」で示される、年齢階級別の労働力人口の推移を確認すると、生産年齢人口（15～64歳）の減少と65歳以上の労働力人口の増加傾向が見られ、社会全体の高齢化に伴う労働力構造の変化が確認できます。

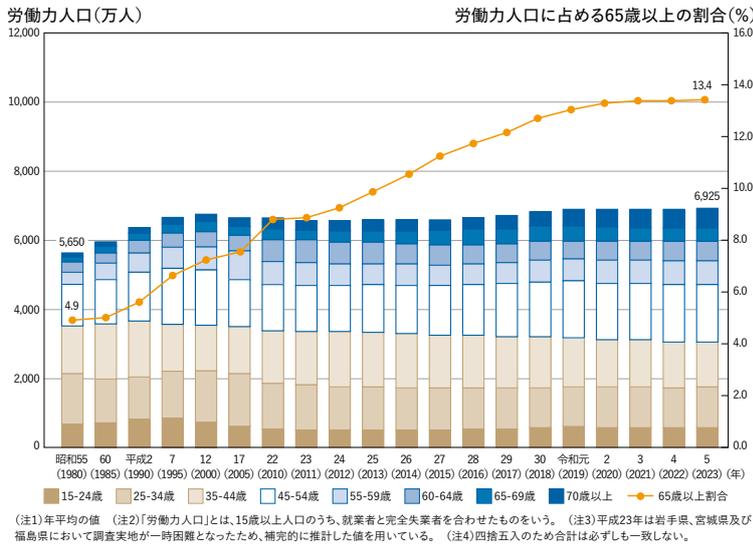
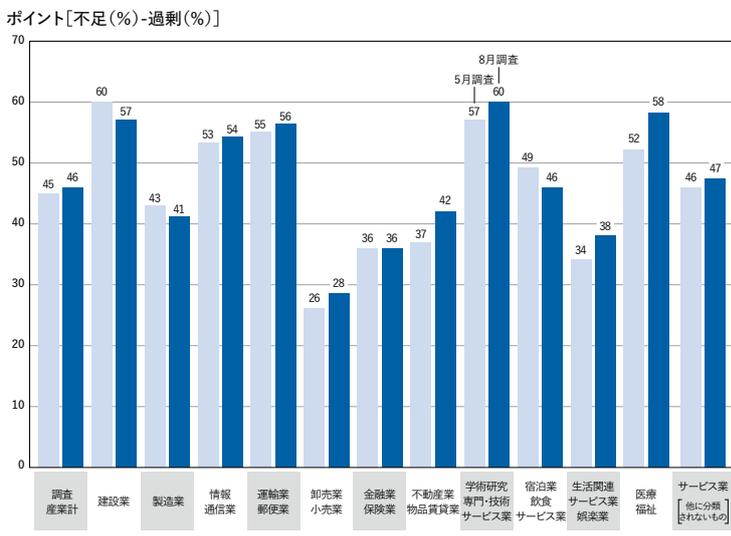


図1 労働力人口の推移 資料：総務省「労働力調査」

さらに、厚生労働省が実施する「労働経済動向調査」によると、特定の分野、特に製造業、情報通信業、運輸業などで人材不足感が強まっています。慢性的な人材不足の解消策として、副業・兼業人材が注目されています。



(注)無回答を除いて集計している「5月調査」は令和6年5月1日現在、「8月調査」は8月1日現在の状況である。

図2 産業別正社員等労働者過不足判断D.I. 資料：厚生労働省「労働経済動向調査」

コロナ禍以降、副業・兼業を行う人材が増加しているのと同時に、企業での受け入れ態勢も整えられています。経済産業省の報告によると、コロナ禍以前は約700万人台だった副業・兼業人材が、2021年には約800万人台へと増加しています。

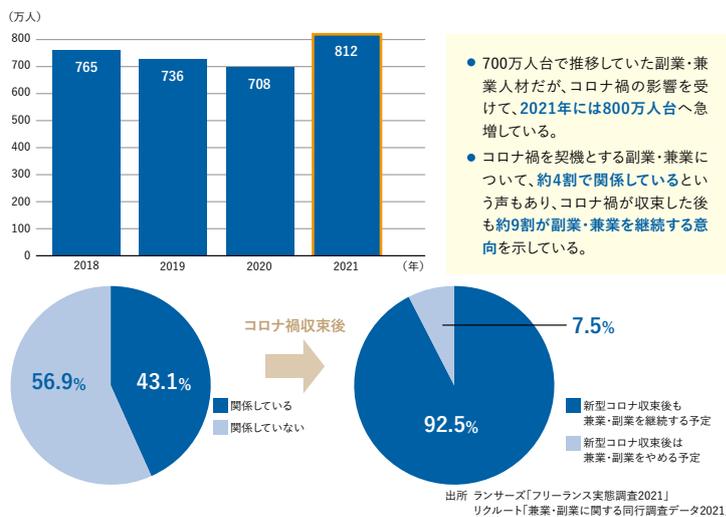


図3 コロナ禍による副業・兼業の普及

資料：経済産業省 近畿経済産業局 「副業・兼業人材の中小企業での活用促進に向けた 知的財産課題等調査事業 研究会報告書」